

# 事業計画事例～飲食業編 Vol.2 居酒屋

事業計画事例では、開業レポート2012のアンケート調査やインタビュー取材でヒアリングした数字をもとに、起業して成功している会社のリアルな事業計画をサンプルとして作成しました。これから起業・独立する方は是非ご参考ください。

## 1. 開業資金と開業費用

まずは開業資金と開業費用。今回取材した事例をもとに、営業している店舗をそのまま引き継いだと想定して試算した。自己資金800万円に、借入を1500万円で合計2300万円を開業資金として設定。

開業費用の内訳は、20坪35席程度の店として、店舗契約費と前家賃、保証金などで計360万円。その他は電話・FAX等で10万円、レジなどのOA機材で15万円、事務用品などで5万円、初期仕入費85万円、会社設立費用30万円で、合計で505万円。自己資金だけでも店舗が開けるが、運転資金や2店舗目、3店舗目と拡大することを視野にいれて、手元資金を初めから手厚くしておきたい。

開業資金	2,300万円
内訳	800万円(自己資金)
	1,500万円(借入)
	万円(その他)

開業費用	505万円
店舗賃貸契約費	150万円
店舗保証金	180万円
店舗前家賃	30万円
事務所・店舗費用(工事費など)	万円
厨房機器・空調機器など	万円
店舗用品など	万円
オフィス用品など	10万円
OA関連機器など	15万円
文具・事務用品など	5万円
その他(初期仕入れ費用)	85万円
会社設立費用・開業諸経費	30万円

## 2. 売上、経費、利益

	初年度	2年目	3年目	
売上(年間)	3,300万円/年	6,600万円/年	9,900万円/年	
経費 (1カ月単位)	原価	984万円/年 (82万円/月)	2,016万円/年 (168万円/月)	3,036万円/年 (253万円/月)
	人件費	960万円/年 (80万円/月)	1,920万円/年 (160万円/月)	2,880万円/年 (240万円/月)
	役員報酬	300万円/年 (25万円/月)	360万円/年 (30万円/月)	420万円/年 (35万円/月)
	家賃等	360万円/年 (30万円/月)	720万円/年 (60万円/月)	1,080万円/年 (90万円/月)
	水道・光熱費	120万円/年 (10万円/月)	240万円/年 (20万円/月)	360万円/年 (30万円/月)
	広告宣伝・販促費	120万円/年 (10万円/月)	180万円/年 (15万円/月)	240万円/年 (20万円/月)
	その他営業諸経費	60万円/年 (5万円/月)	120万円/年 (10万円/月)	180万円/年 (15万円/月)
	借入金の返済	300万円/年 (25万円/月)	300万円/年 (25万円/月)	300万円/年 (25万円/月)
利益	96万円/年	744万円/年	1404万円/年	

売上は1年目で3300万円、2年目で6600万、3年目で9900万円という試算。

1店舗あたり20坪-35席で客単価は3000円。平日は1回転、週末は1.5回転として、月の売上が273万円。これを2店舗、3店舗と増やしていったという想定である。

1年目の経費と利益だが、原価率は平均的に売上の30%程度、人件費も30%で家賃を10%として合計70%。それ以外の経費、例えば販促費はぐるなびなどのネット媒体に限ることで極力抑えた形にすることで1年目から240万円程度の利益が残るようになる。2年目、3年目も同様で、3期目が終わった時点で安全率5.7。かなり優秀な数字だ。役員報酬は低めだが、利益が確実に残るのであれば、報酬額を引き上げてもらいたい。

無論、これはあくまで計画上。店舗経営がうまく軌道にのればの話だが、どこかで失敗すれば初期投資を抑えているとはいえ、数百万円の損失を覚悟しなければいけない。それだけの赤字をリカバリーするのは大変だろうが、手元資金に余裕があれば挽回できるチャンスは大きいだろう。